

SDロガー5 RS-485版 取扱説明書

DT-SDL5-485



弊社はSDアソシエーションのメンバーです。

株式会社データ・テクノ

京都市下京区西七条東御前田町48番地

URL: <https://www.datatecno.co.jp/>

〒600-8898 TEL:(075)313-3275 FAX:(075)314-0576

- ・本取扱説明書の内容は、改良のため予告なく変更することがあります。
- ・最新の情報は、弊社ホームページでご確認ください。

目次

I	概要	3
II	RS-485版(通常版との違い)	3
1.	通信端子	3
2.	RS-232Cコネクタ	4
3.	コンフィギュレーションモードによる設定変更	4
4.	ステータスファイル	5
III	その他	5

I 概要

SDロガー5(RS-485版)は、SDロガー5(通常版)に対して、通信インターフェースがRS-232Cから、RS-485に代わったものです。

通信インターフェース以外の基本的な仕様や動作は、通常版と同じです。

この取扱説明書では、通常版と違う部分について述べます。その他は、通常版の取扱説明書をご覧ください。

「SDロガー5 取扱説明書 (X521012-2)」

II RS-485版 (通常版との違い)

1. 通信端子

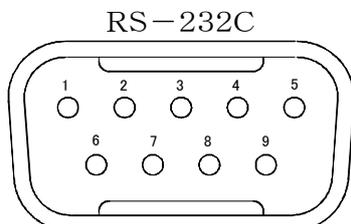


ピン番号	名称	内容	信号の方向	
1	GND	GND		ロ ガ ー 側
2	A	送受信 A(-)	↔	
3	B	送受信 B(+)	↔	

TERMスイッチをONにすると、A(2)、B(3)間にターミネータ(120Ω)が接続されます。

2. RS-232Cコネクタ

RS-232Cと表記されていますが、RS-485信号が入出力されます。



D-Sub 9ピン オス
(コネクタ側面から見た図)

ピン番号	名称	内容	信号の方向	
1	NC	<未接続>		ロガー側
2	B	送受信 B(-)	↔	
3	A	送受信 A(+)	↔	
4	NC	<未接続>		
5	GND	GND		
6	NC	<未接続>		
7	T1	ターミネータ1(注1)		
8	T2	ターミネータ2(注1)		
9	NC	<未接続>		

(注1) T1(7)、T2(8)間をショートすると、
A(3)、B(2)間にターミネータ(120Ω)が接続されます。

3. コンフィギュレーションモードによる設定変更

SDロガー5(RS-485版)では、つぎの設定は無効となります。

項目	選択肢
フロー制御	設定は無視されます。 RTSによるフロー制御は行なえません。
ラインコンバータ制御	設定は無視されます。 ラインコンバータ制御は、常に行なわれます。

設定変更の方法については、別途下記の資料をご参照ください。
「DTMCHostの使い方 (X519006-3)」

4. ステータスファイル

SDロガー5(RS-485版)は、ステータスファイルにつきのように表示されます。

●ステータスファイルの書式

項目	例
RS-485版	(RS-485 model)

III その他

2. 保証規定

保証期間は、納入後1年間とします。

本製品を、正しいご使用状態のもとで万一装置が故障した場合、本保証規定に従って無償修理いたします。

ただし、つぎのような場合は、保証期間内でも、有償修理となります。

- (1)ご使用上の誤りによるもの。(2)誤接続によるもの。
- (3)間違った電源供給によるもの。
- (4)お客様自身による改造や、修理が施されているもの。
- (5)火災、地震、風水害、落雷およびその他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガス等)などによるもの。
- (6)消耗によるもの。(7)落下等によるもの。(8)外力により損傷したもの。
- (9)海外でのご使用によるもの。

3. センドバック修理

修理はすべて、直送で対応いたします。故障した製品を弊社へ直送いただき、修理後お客様のもとへ、直送で返却いたします。

送料は、弊社への送付時にはお客様のご負担で、弊社からお客様への返却時には、弊社負担とさせていただきます。

4. 修理見積

修理費用は、弊社の判断で、見積りを出させていただく場合があります。

5. 免責事項

弊社では信頼性の向上に努めておりますが、本製品の使用に基づく損害等について、全ての責任を負えるものではありません。

本製品は、高信頼性用途へのご使用は、意図されておりません。

本製品は日本国内向け仕様であり、海外でのご使用については、一切責任を負えません。